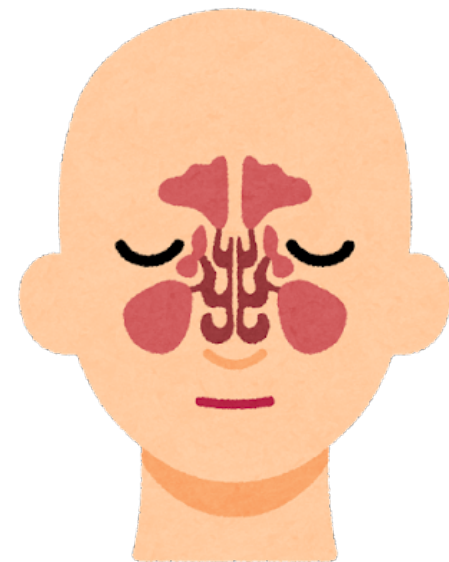


# 急性鼻副鼻腔炎

急性に発症し、発症から4週間以内の鼻副鼻腔の感染症で、鼻閉、鼻漏、後鼻漏、咳嗽といった呼吸器症状を呈し、頭痛、頬部痛、顔面圧迫感などを伴う疾患  
重症例では眼窩内、頭蓋内合併症を伴うこともある。



## 原因

感冒（ウイルス感染）の経過中に、細菌感染に移行する。  
主な病原菌は肺炎球菌、インフルエンザ菌、黄色ブドウ球菌、モラクセラ菌。

**検査**     鼻汁細菌検査、内視鏡検査、レントゲン、CT

**保存的治療**     鼻処置、ネブライザー、抗菌薬（中等症以上）

**外科治療**     上額洞穿刺、内視鏡手術など